

環境目標と2004年度実績

ニチレイグループは、1992年度に定めた環境方針に基づき、2010年度末までの長期目標と2006年度末までの中期目標を策定し、その達成に向けてさまざまな施策に取り組んでいます。

環境方針

- 1.環境負荷低減に努めます。
- 2.環境マネジメントシステムの構築により、環境保全対応の強化を図ります。
- 3.環境法規、条例等の法的要求事項を遵守します。

中長期目標と2004年度実績

2010年度末目標	各事業会社の2006年度目標	2004年度実績	関連ページ		
廃棄物削減と再資源化 最終処分廃棄物量※ゼロ (=ごみゼロ)の達成 <small>※事業所外に排出される廃棄物のうち、直接処分場に埋め立てられる廃棄物およびエネルギー利用などがなく単純焼却される廃棄物の量</small>	グループ全体	最終処分廃棄物量を1999年度比70%削減	最終処分廃棄物量を1999年度比54.8%削減	36ページ	
	ニチレイフーズ	最終処分廃棄物量を1999年度比70%削減 ごみゼロを5事業所で達成	最終処分廃棄物量を1999年度比57.6%削減 ごみゼロを2事業所で達成(合計3事業所)	40ページ	
	ニチレイフレッシュ(水産)	最終処分廃棄物量を355トンに削減 ごみゼロを1事業所で達成	最終処分廃棄物量を244トンに削減 ごみゼロを1事業所で達成	42~43ページ	
	ニチレイフレッシュ(畜産)	最終処分廃棄物量を1999年度比40%削減	最終処分廃棄物量を1999年度比64.4%削減		
	ニチレイロジグループ	最終処分廃棄物量を1999年度比70%削減 ごみゼロを65事業所で達成	最終処分廃棄物量を1999年度比19.8%削減 ごみゼロを6事業所で達成	44ページ	
	ニチレイバイオサイエンス	再資源化率70%達成(2004年度実績に基づき、50%より上方修正)	再資源化率63.5%達成	45ページ	
	ニチレイ(フラワー事業部)	最終処分廃棄物量を2003年度比30%削減	最終処分廃棄物量が2003年度比185.7%に増加	45ページ	
地球温暖化防止 生産トン当たりのCO ₂ 排出量(電力・燃料由来)を1999年度比15%削減 <small>(対象:ニチレイフーズおよびニチレイフレッシュの国内食品工場)</small>	工場物流センター	ニチレイフーズ	生産トン当たりのCO ₂ 排出量を1999年度比12%削減	37ページ	
	ニチレイフレッシュ(水産)	ニチレイフレッシュ(畜産)	エネルギー排出量原単位を2003年度比3%削減(対象:エネルギー管理指定工場)		
	ニチレイフーズ	ニチレイロジグループ	モータリシフトの拡大	7工場では排出量原単位を2003年度比1%以上削減(2004年度の指定工場は15工場、内2工場は新規指定)	41ページ
	ニチレイフーズ	ニチレイロジグループ	協力運送会社と連携したCO ₂ 排出削減 ・協力運送会社におけるCO ₂ 排出量、燃費の把握 ・8協力運送会社でグリーン経営※1認証取得	2,563トンのCO ₂ 削減(2003年度比77%増)	44ページ
環境に配慮した商品・サービスの提供	ニチレイフーズ	市販商品の包装資材の軽量化、脱トレイなどによる使用量削減 ・PETボトルおよび缶:250トン※2の削減 ・プラスチック類:75トン※2の削減 物流資材(段ボール、PPバンド)の規格見直しによる使用量削減 ・段ボール100トン※2削減	業務用「サクリのメンチカツ類」のトレイ廃止 業務用「衣サクサクのコロッケ」の緩衝シート削減 一部商品でのアルミ蒸着の廃止 ホットメニュー(自販機用商品)の箱内側の漂白中止 左記に掲げた2006年度目標を新たに設定	41ページ	
	ニチレイフレッシュ(水産)	薬剤の使用を低減して養殖したえびの取り扱い拡大 ・養殖えびに占める売上比率60% 骨まで丸ごと食べられる商品(=骨、皮の廃棄量削減)の取り扱い拡大 ・廃棄物削減量※3 156トン リサイクル推進のため蠟引き段ボールの廃止	骨まで丸ごと食べられる商品の開発、販売 左記に掲げた2006年度目標を新たに設定	42~43ページ	
	ニチレイフレッシュ(畜産)	肥育段階での薬剤使用を低減したFAチキン、オーガニックチキンの取り扱い拡大 ・年間取扱量 2,300トン	「環境にやさしい」をコンセプトのひとつとした畜産素材を販売 左記に掲げた2006年度目標を新たに設定		
	ニチレイロジグループ	物流共同化などによる環境負荷を低減する事業の推進 ・営業提案時に環境配慮のための評価を実施	物流共同化などの提案、実施 さまざまな環境配慮を施した杉戸物流センターの新設	44ページ	
	ニチレイバイオサイエンス	目標の設定	目標設定に向けた検討継続	45ページ	
	ニチレイ(フラワー事業部)	天然物由来の資材使用率35%、輸送用通い箱の実用化	生分解性プラスチックの生産資材の試験導入	45ページ	

※1:国土交通省が進めている運送事業者の環境経営状況を認証する制度
 ※2:2005年度削減量+2006年度削減量、削減量=商品1個当たりの削減量×削減実施年度の販売数量
 ※3:削減量・骨丸商品1個当たりの骨、皮の廃棄量を8%として換算

継続的な目標と2004年度実績

環境目標	2004年度実績	関連ページ
環境への影響の大きい化学物質への適切な対応	事業に関わる有害化学物質の適正管理と適正処理の計画、実施を推進 適正管理の継続 PCB処理に向けた現状確認	38ページ
本社・支社オフィスにおける環境保全への取り組み	本社分別ルール説明会実施 スコレ研修センターで生ごみ処理機を導入し、食堂の生ごみを肥料化 ニチレイ本社ビル1Fに間伐材利用のプランターカバー設置	46ページ
環境マネジメントシステム構築	事業会社単位でのISO14001認証取得に向け、仕組みの見直し、構築を実施 ・ニチレイフレッシュISO14001認証取得 (株)ニチレイ・アイスで新規取得活動実施 2004年度版ISO14001への対応とシステムの継続改善	34ページ
環境法規遵守	環境に関わる遵守事項の周知と実施状況のチェックを事業会社ごとのセルフチェック、経営監査グループによる監査などにより継続実施 事業会社ごとに従業員向けの環境法規啓蒙ツール作成開始 ニチレイロジグループでは低温手帳に環境法規の解説を追加	35ページ